



医師が意見書を記入することが考えられる感染症

東部保育園

感染症名	感染しやすい期間※	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後(※①)3日を経過していること
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症(※②)した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(乳幼児にあつては、3日経過するまで)
風疹	発しん出現の7日間から7日後くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮(かさぶた)形成まで	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	-	医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌物質による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157, O26, O111等)	-	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	-	医師により感染の恐れがないと認められるまで

補足

※①解熱した次の日を第1日と数える

※②発症とは、発熱の症状が現れたことを示す。発熱した次の日を第1日と考える。